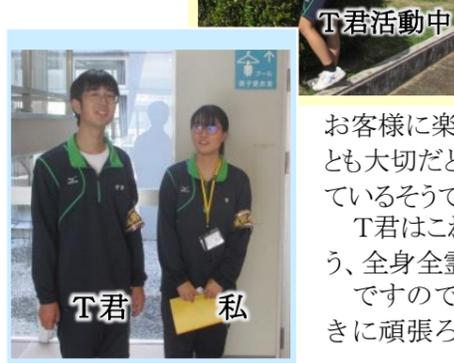


### ヤマト絵日記 その15



### 西城温泉プールで活動する生徒への取材

みなさんこんにちは！西城自治振興区で地域貢献活動中の管です！今回は『西城温泉プール水夢』で地域貢献活動を行っているT君のもとで取材することに成功しました！T君は昨年、こちらの西城温泉プール水夢でアルバイトを行い、とてもやり甲斐を感じたことがきっかけで活動を決めました。



私がT君に取材している様子

私もこちらのプールでアルバイトをさせていただいた事はあるのですが、職員さんの対応や室内の環境はとても良く、とても過ごしやすかったのを覚えております！

T君の主な活動内容はプールの監視や窓拭き、ゴミ拾いや植木の剪定などといった事を行っています！

これらの活動を通し、安心安全にお客様に楽しんでいただくためには環境を整えることも大切だと気付いたのでここにきて良かったと思っています！

T君はこれからもお客様が楽しんでいただけるよう、全身全霊をかけて活動していきます！

ですので私もT君に負けなよう、ひたむきに頑張ろうと思います！！

記 西城自治振興区 管

応援しています  
西城紫水高

### 西城バレーボールスポーツ少年団



10月13日(日)第34回近県小学生バレーボール交歓大会を開催しました。この大会は、中国山地の中に隣接する県の小学生バレーボーラー達がゲームを通して相互の親睦を図り、競技する喜びと優れた技術の習得を目指すことを目的として始まり、今年も県内外からの16チームにより庄原市総合体育館(主会場)で熱戦が繰り広げられました。

【結果】A級優勝 東城、B級優勝 寺西龍王、C級優勝 西深津、D級優勝 吉田、A級準優勝 伯耆、B級準優勝 落合、C級準優勝 西城、D級準優勝 東キャッツ

西城バレーボールスポーツ少年団の練習は、月・水曜日は17:30から土曜日は13:00から西城体育館で行っています。団員募集中です。見学から始めてみませんか。

### 第4回役員会 10月10日(木) 協議事項

- ①令和7年度からの西城交通バスの運行「大谷・本谷線」と「道後山線」の最終便について予約運行実施
- ②令和7年度から旧美古登小学校避難所の廃止
- ③西城自治振興区「グラウンド・ゴルフ大会」実施
- ④ドローンサッカーお披露目会の実施
- ⑤紫水高校寮生の土日の活動を自治振興区でサポート

### 西城自治振興区グラウンド・ゴルフ大会



予定していたグラウンド・ゴルフ大会が雨で2回(10/23、28)とも開催できずに抽選会を行いました。1位五日市公盛会(庄原市自治振興区連合会GG参加) 2位大佐村 3位中野1区

### かわいい防災パレード



10月22日(火)火災が発生しやすい時季を迎え、秋の火災予防運動(11月9日～15日)に向けて、保育園児のかわいい防災パレードがありました。

### お忘れではないですか？



西城自治振興センターで忘れ物の傘を保管しています。心あたりのある方はお申し出ください。

### 参加者募集！

パソコン教室  
11月22日(金)  
12月13日(金)  
いずれも13:30~  
※都合により変更になることがあります  
講師：宮原賢治さん

西城自治振興区だより

2024.11.20(水) Vol.149

## 西城まちづくり便

☎729-5722 広島県庄原市西城町大佐734  
TEL/FAX:0824-82-2175  
e-mail:saijyo.jichi@gmail.com



ヒバゴンのまち 自然豊かな広島県庄原市西城町の様々な情報をお届けします♪

西城町観光協会とタイアップした情報サイトです  
地域の情報などを発信します \*こちらからお入りください



### 福山常会に、すみれ会が新規立ち上げ！！

これまでの身近な地域の老人会の集まりの場を、小地域サロンとして、新しく社会福祉協議会に登録されました。このサロンに顔なじみが気軽に集まることにより、見守りやお互いのできる範囲での支え合い活動へとつなげていけます。おめでとう、ございます。(活動は年6回以上、活動支援金が3か年にわたり助成されます)

10月17日(木)にさんわむら福山集会所にお訪ねしました。



お茶の時間



ドローンを披露



さんわむら 福山集会所



田村会長(右)と民生委員の捻金さん(右から三人目)とすみれ会のみなさん

集会所はプレハブ2個をつなげ屋根をつけ、平成12年に完成しました。資金は役場からの補助と地元資金です。本日の参加者は7名。民生委員の捻金さんも参加されました。

踏まれても踏まれても咲く花、すみれの名前をつけ、平成19年に老人会として誕生しました。年に5、6回の活動です。これまでにグラウンド・ゴルフ、リハビリ体操や健康の話。忘年会、新年会、ビンゴゲーム。カープの応援にもバスで行きます。でも、いちばんはおしゃべりの時間。今回はシカの親子を見たとか、クマが木に爪痕を付けたとか、カラスがパンをとったとか。話題と笑顔は尽きません。手作りのお弁当を用意され、皆さん舌つづみを打ちます。

お開きまで笑顔は途切れませんでした。

### 健輝倶楽部(入江自治会小地域サロン)

毎月第3水曜日に入江集会所で開催されており、コロナ渦で休止となった時期もありましたが、来年の秋には100回目の開催を迎えます。お世話をされている星野さんによると、健輝倶楽部は、①おしゃべりをする。②交流を深める。③体を動かすことを「柱」にして活動中、参加者は5~8名程度、時間は2時間程度、メニューは、最初に飲み物とお菓子を食べながら1時間程度の懇談、次に軽めに30分程度の体操、最後におやつを食べながら30分程度の懇談を楽しんでおられます。

なお、おやつには星野さんのこだわりがあり、「普段食べられないもの」をチョイスするように心掛けているので、9月のおやつは、「季節限定の「あまおう苺ゼリー(ナタデココ入り)」で、見た目は奇抜ではありませんが、なかなかの美味でした。

お邪魔した日は、5名の参加があり、最高齢者は97歳でした。最初と最後の懇談は、稲刈りの話題から米の品種(銘柄)、コメ不足や食品の保存(消費期限と賞味期限の確認)、食品ロスの話へ展開したり、野菜の話では秋茄子の剪定からカメムシ、イノシシ、サル農作物への被害の話に展開するなど、参加者全員が身近な話題に話が弾み、時間が経つのも忘れて続きました。

体操では、星野さんの掛け声のもとで、立つ、座る、歩くなどの日常生活に必要な動作を維持させるための基本的な首、肩、腕(指)、足に関わる体操に取り組み、身体が軽くなりました。

参加者に話を伺うと、「星野さんのおかげで毎回楽しんでいます」、「ここに来て(シルバーカーを押しながら歩くのもいい運動になる)、しゃべって、食べての同世代の交流は楽しい」など、皆さんがサロンへの参加を楽しみにされています。

記：石堂地域マネージャー



9月18日(水)

地域マネージャー 活躍中

体操



星野さん(上の段)と健輝倶楽部のみなさん

# じゃけん ここが 心地ええよ、のオ～！！

## ひとりのくらしを、みんなで...!

### ～小地域サロンづくりの活動について～

西城自治振興区も設立から12年になります。昨年は、衝撃的なこととお聞きしました。これまで3軒であった常会がとうとうわが家1軒だけになったと。そして、自治会の高齢化率が69%になり、自治会活動もままならなくなったと。また、西城の出生数はわずか4人であったと。たしかに、商店はなくなり、空き地空き家も増え、この間の過疎化・高齢化・少子化の現実是一段と厳しさを増してきています。しかし、それでもなお、私たち地域コミュニティーはどっこい！生き抜いています。



さて、社会福祉協議会でよく耳にする困りごとの話として、「通院や買い物が不便」「話し合い手がない」「体がきかなくなり不安」「食事作りがしんどくなってきた」「掃除が十分にできない」「地域の務めが負担になる」「孤食で味気ない」「ゴミ出し場まで遠い」「災害時の自力避難が難しい」「変な電話や郵便物がある」「物忘れがすすんできたように思う」「ちょっとした相談できる相手がいない」「おもしろが時々あり外出が億劫になる」「遠方にいる子どもがめったに帰ってこない」「認知症になるのが怖い」などが、気になるとお聞きしました。

現状は、これまで培われてきた「互近助のチカラ」で、お一人おひとりの善意をもって支えられ、高齢者の暮らしと地域は守られているものと思っています。しかし、コロナ禍を経て、地域は今、つながりが薄くなりがちになり、高齢者の高齢化もすすんで、こうした支えもだんだんと難しくなっています。

そこで、住民自治のしくみにより「助け合いや支え合い」を維持していくことが必要で、大切になってきています。わたしたちがめざす「地域包括ケアシステム」とは、こうした困りごとを、地域のみならず、お互いの暮らしを支え合うという、地域の助け合いの充実のしくみのことです。

### そのために、環境福祉部は、小地域ごとに



### 暮らしを支えるサロンをつくっていく！ことをはじめています

地域には、お一人おひとり各自に、それぞれの熱があり、その熱にみんなの力が加わり、小さな風を地域に起こしていきたいと考えています。その小サロンに、顔見知りの仲間が集まれば、どんなときも気持ちが通じ合います。そして、大丈夫？と心配してくれて、手伝うよ！と声をかけてもらえる。また、いつもの気かけ合いが、地域のみならずで何かをするつながりになり、新しい

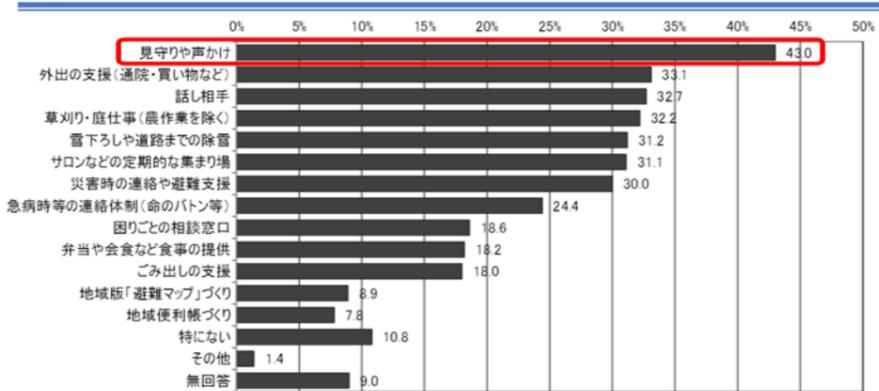
助け合いと支え合いが始まります。小地域サロンは、顔なじみどうしの地域のお茶の間のようなサロンですから、楽しいこともしんどいことも分かち合いながら、地域まるごとひとつの大家族になっていくと考えています。

それが、小地域サロンづくりだと考えています。

どうぞ、よろしくお願ひします。

西城自治振興区  
会長 田村富夫

### 住み慣れた地域で暮らし続けるために地域が取り組むべきこと



8月23日環境福祉部会研修資料

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】 令和5年3月 庄原市

### デイホーム「八鳥ふれあいサロン」

10月9日(水)八鳥ふれあいサロンを行いました。最初にシルバーリハビリ体操から始まり、比婆山伝説ガイド・ツイハラの会によります紙芝居比婆山物語。画像によります白山神社の紹介。地元でも知らない事が紹介され、とても興味がわきました。午後から花の本寿百弘社中によります歌謡・日本舞踊ショウが有りとても満足しました。最後にビンゴゲームで終わりとても楽しい一日を終わりました。八鳥ふれあいサロン会長 滝本明人談



### 県立大学白楊祭で、ドローンサッカー体験会を実施

地域マネージャー  
活躍中

県大キャンパス ゼミ 10月4日(金)



10月26日(土)、広島県立大学庄原キャンパスで開催された白楊祭でドローンサッカー体験会を実施しました。

西城自治振興区と県立大学生物資源科学部地域資源学科の教授とは、新入生歓迎行事を毎年、西城で実施したり、学科のセミナーを西城自治振興センターで行ったりする等、ここ数年、交流が続いています。今年度は、大学の学園祭である「白楊祭」でドローンサッカー体験をしていただけないかと教授からの要請がありました。西城自治振興区としても、11月2日(土)【天候不順のため11月16日(土)に延期】に開催する「ドローンサッカーお披露目会」のリハーサルとして行うこととしました。

前日より用意した機材一式を西城自治振興センターから、車両3台に載せ、5名のスタッフで会場である大学の体育館まで搬入しました。会場には2名のスタッフが待っており、計7名で機材の設置を行いました。こちらの7名のスタッフは会長、副会長、地域マネージャー、地域振興部部長・副部長で、当日は教授のゼミの学生に声をかけていただき、大学生8名がスタッフとして手伝ってくれました。スタッフ全員で、ゲージの設置や机・椅子の配置、ドローンの設置、バッテリーの準備等、約1時間で準備が完了しました。

10時から受付を開始し、受付を済ませた方から、清水地域マネージャーと麻田地域振興部長がドローンサッカーの説明、ドローンの扱い方の指導を行い、実際にゲージの中でのドローンサッカーを体験してもらいました。私たちスタッフは受付・機材管理・運営補助・全体補助等の役割分担をして、体験会を運営しました。広い体育館の半分を使って体験会ができたので、10名を超える体験者が来てでも対応ができました。また、大学生のスタッフは要領を飲み込むのが早く、バッテリーの交換や得点が入った時の審判や様々な場面で補助をしてくれて助かりました。やはり、スタッフの育成がドローンサッカーの普及には欠かせないと改めて思いました。

参加者は、3歳ぐらいのお子さんから70代のお年寄り、車いすの方が体験され、とても喜んでいただきました。体験会参加者は60名で、盛況でした。反省点としてフル充電したバッテリーを114個持参しましたが、四時間で充電が間に合わなくなり、予定よりも早く受付を終了せざるを得ませんでした。

体験会終了後、スタッフ全員で反省会を行い、「ゲージに入ってドローンを飛ばす前の練習に、決められた場所にドローンを着陸させる練習を入れた良い。」「ドローンサッカー体験会用の軽い椅子や機の購入も考えたらよい。」等の意見が出されました。「ドローンサッカーお披露目会」に向けて課題と手ごたえを感じる体験会となりました。(白楊とは通称ポプラの木です)

西城自治振興区 副会長 吉浪謙三

西城自治振興センター 10月8日(火)



県立大学庄原キャンパス 白楊祭 10月26日(土)

